

# 復職支援講習会Ⅱ

## 【重要なお知らせ】

1. コロナウイルス感染拡大防止目的により、参加申し込み者のみが視聴できるYouTubeの限定公開システムを用いたオンラインによるセミナー開催となります（\*オンライン環境がない方は会場参加可）。

2. **本研修会は東京都保健局よりの委託事業となっております。**

**つきましては受講対象者は以下の方に限ります。**

- ① 一般社団法人東京都歯科技工士会（都技）会員
- ② 学生並びに都技メイト会員（技工学校卒業後2年度内の方）
- ③ 東京都内在住在勤歯科技工士

## 【申込期間】

- 東京都歯科技工士会会員（上記①番）：12月20日(月) AM9時～
- 学生並びに都技メイト会員（卒業後2年度内の方）（上記②番）：12月20日(月) AM9時～
- 東京都内在住在勤歯科技工士（上記③番）：12月27日(月) AM9時～

\*受付開始日前のお申し込みは無効とさせていただきます。

\*定員になり次第締切させていただきます。

## 【申込方法】

① 参加希望者は右記QRコード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。

ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>

② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。



申込用QR

## 【LINE公式アカウント登録のお願い】

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技では試験的にLINE公式アカウントを設けましたのでLINEを使用されている方は、是非とも登録をお願いします。



都技LINE公式アカウントQR

## 【お問い合わせ】

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F  
e-mail: [togi-info@to-ginet.com](mailto:togi-info@to-ginet.com)

## 令和3年度 復職支援講習会Ⅱ

### オンラインセミナー

## デジタルラボ・シンポジウム2022

# Digital Labo Style ver5.0

## Reflections on the near future

### ～デジタル化による問題点と解決策から デンタルラボの未来を考える～

第1部 「デジタルトランスフォーメーション推進における技術課題と解決策」

第2部 「デジタル化による問題点の明確化からラボの未来を模索する」



## Tokyo master course Science Lecture

### 講師

【第一部】 菅原 克彦 先生  
(有)ケイエスデンタル代表

【第二部】 伊藤 彰英 先生  
(株)いね社代表



【開催日時】  
令和4年 1月16日(日)

受付 12:30 開始 13:00 → 終了 17:00

### オンラインセミナー

定員 80名 参加費 無料

### 会場受講

定員 10名 参加費 無料

【場所】 東京都歯科技工士会 研修室  
東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F



一般社団法人 東京都歯科技工士会

都技  
生涯  
研修

## デジタルラボ・シンポジウム 2022

# Digital Labo Style ver5.0 Reflections on the near future

～デジタル化による問題点と解決策からデンタルラボの未来を考える～

第1部 13:00～14:20

## デジタルトランスフォーメーション推進における 技術課題と解決策

私たち歯科技工業界は深刻な人手不足が加速するなか、国の指針である働き方改革が施行されたことでDX化が進む歯科技工士の労働環境は、今後さらなる変化改善が期待／要求されます。このDX化の波に乗るためには、デジタル技術を活用した製品やサービス／ビジネスモデル／組織／プロセスなどを変革して、新たな成長力や競争力を確立する必要があります。ラボのデジタル化には、新たな機械が必要となり導入のためには高額な費用も必要になり、機械導入後も人材育成や他社との差別化により優位性をどう確保していくのかなど、様々な課題も生じてきます。デジタル化を進めるには、現在の課題の洗い出しや、ツールの選定など検討することも多く、デジタル化が会社にどんな効果をもたらすのか、しっかりと理解した上で、自社にあった方法を取捨選択していくことが大切です。

本講演では生産性向上・収益改善を目的として、CAD/CAMシステム導入から3Dプリンタへの設備投資を行った弊社の取り組みを紹介しつつ、サステナビリティの向上へつながる将来への展望、そして一般工業界の動向や、世界の歯科技工業界の潮流も鑑みて、日本の歯科技工業界が培った技術を生かし、未来にむけ成長するために取り組んだ事例や、IOS対応の問題点についても紹介させていただきます。

### ■講師略歴

## 菅原 克彦 [すがわら かつひこ]

1985年 東北歯科技工専門学校卒業  
1993年 早稲田トレーニングセンター講師  
1997年 (有)ケイエスデンタル開業 (神奈川県横浜市)

- 東北歯科技工専門学校研修科非常勤講師
- 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校非常勤講師
- 新東京歯科技工専門学校非常勤講師



第2部 14:30～15:50

## デジタル化による問題点の明確化から ラボの未来を模索する

歯科界に産業界で培われたデジタル技術が持ち込まれ、現在では補綴装置・矯正装置・患者へのインフォームドコンセント等に様々な活用がされている。デジタル機器の活用により効率化を図り歯科技工作業時間短縮も可能となり、歯科技工士の勤務形態も今、大きく変わろうとしている。デジタルの利便性の恩恵を受けつつも、デジタルソフトや機械化特有の問題点により幾許かのストレスを感じる事も増えた。問題点は歯科技工作業そのものに留まらず、歯科医師とのコミュニケーションや経営まで広範囲に及ぶ。

デジタルの導入はプラスの側面と同時に導入・運用、そして完全に普及した後の時代を鑑みるとマイナスに働く因子も同時に存在し、そのマイナスの因子をどの様にしてプラスに転換させるか？ そしてデジタル普及期である現時点で、どの様にマイナスの芽を摘んでしまうか？ 将来の歯科及び歯科技工業界にとって今まさに分水嶺である様に思う。デジタル化を単なる効率化と捉えてしまう事には危険性を孕んでいる。

効率化を果たした後のコモディティ化や、異業種からの参入など、経営環境を取り巻く問題点等も少しずつ表面化しており、その点においても参加者の皆さんと情報を共有したいと思う。

### ■講師略歴

## 伊藤 彰英 [いとう あきひで]

1985年 東邦歯科医療専門学校卒業  
1986年 早稲田歯科技工トレーニングセンター卒業  
同年 (株)足利セラミックラボラトリー入社  
1997年 (株)ていね社設立  
2002年 米国 ADTC 非常勤講師  
2011～2021年 デンタルアカデミー東京インプラントコース講師



第3部 パネルディスカッション 16:00～16:45

## デジタルラボ・シンポジウム 2022

パネリスト 伊藤先生・菅原先生 座長 石川会長 総合司会 牧繪

受講者からの質問もとに展開してまいります。

質問をセミナー中に受け付けますので、皆様のご参加とご質問をお待ちしております。